

## 事務事業評価における総括

部 局 名	選挙管理委員会事務局	記入責任者	中山 早恵子
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>事務事業の施策指標である国政選挙、地方選挙については執行のない1年となりましたが、秋に選挙が取り沙汰された衆議院議員総選挙に向け、周到的な事前準備を行い、選挙がいつあっても執行できる体制づくりに努めました。</p> <p>政策的事業は、2事業のうち1事業で効率的な事務執行と指標を達成したため、S評価としました。他の事業については、利便性の高い施設への期日前投票所変更、投票所となっている施設が耐震改修工事を予定しているため、その代替施設調査を行うなど、選挙執行の準備年としておおむね順調に進捗し今後の成果が見込まれるため、C評価としました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>令和2年度は選挙の実績はありませんが、コロナ禍のため通常の啓発イベントを開催しにくい状況の中、初めての試みとして市内高校への出前授業を藤沢税務署と共同で開催しました。こうした結果は直ぐに投票率向上に結びつくものではありませんが、若年層への選挙啓発活動を今後も継続していくことで、将来的な投票率向上に資するものと考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>全国的に投票率は低下傾向にあります。主権者教育の一環である中学校、高等学校での出前授業、選挙啓発標語の募集といった若年層を対象に常時啓発事業を実施するなど、今後も国や県とも連携しながら、投票率の向上に向けた取り組みを継続していきます。</p> <p>次年度以降、衆議院議員総選挙を皮切りに選挙の執行が続くことになります。事前の準備を着実に行うことはもちろん、コロナ禍における選挙として、国や他市の対策等を参考にしつつ、保健所との連携も強化し感染拡大防止対策をしっかりと講じながら、適正かつ円滑な選挙の執行に向けて取り組んでまいります。</p>			